

目標達成計画

作成日：平成24年1月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	現在、地域の行事に参加しているが、より地域とのかかわりを持った関係を再構築していきたい。子ども会等が少子化という現実と町内会への若い層への参加を促していきたい	地域公民館等への参加等地域の民生委員さんとの連携・また友愛活動への支援のお手伝いを充実したい。	6ヶ月
2	3	運営委員会を活かした地域活動	2と重複しますが、一人住まいの高齢者への支援活動の充実	運営委員会を内なるテーマでなく、近隣の情報交換、一人住まいの高齢者さんへのアプローチ等の再構築	5ヶ月
3	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	地域包括支援センター・司法書士さん等による啓蒙	現在、入居者さんの内1名、司法書士さんが後見人としています。また後見人制度適応者1名がいます。その方に関しては地域包括支援センターとの連携を取っています。	12ヶ月
4	23	馴染みの人や場との関係継続の支援	今以上に利用者さんの馴染み等を再発見すること	利用者さんへの友人・家族への密なる情報提供と確認	4ヶ月
5	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	在宅医療機関と看護師の連携に充実・家族と連携網の充実	年々、利用者さんの高齢化が進む中、より緊密な医療・看護・家族との連携の再構築	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。